

熊本県の地産地消の推進に関する施策の報告

2 平成27年度の実績

くまもと地産地消推進県民条例に基づき、県が取り組んだ地産地消の推進に関する平成27年度の主な取組みの実績については次のとおりです。

(1) 県民の県内農林水産物等への理解の深化及び郷土愛の育成

郷土料理の伝承、「食育」及び「木育」に係る活動、各種広報を活用した県内農林水産物等に係る情報提供等を行い、県内農林水産物等に対する理解を深め、郷土愛を育む。

主な取組み実績	部 局
<p>1 くまもと地産地消活動支援等事業のうち地域密着型の機運醸成 県内各地域10市町村において、地域に根ざした形での様々な推進活動(消費地交流、物産振興・PR、給食用食材提案、食育、農作業・調理体験、料理コンテスト、認知度UPイベント など)を実施した。</p>	農林水産部
<p>2 くまもと地産地消活動支援等事業のうち地産地消サイト ホームページやメールマガジンを活用して、地産地消の推進を行う協力店や料理方法、イベント等の情報を発信し、消費者と生産者の共生関係づくりに向けた意識啓発を行った。(実績)サイトアクセス回数 214千件</p>	農林水産部
<p>3 くまもと地産地消活動支援等事業のうち直売所支援 県内7地域において地域の直売所が一体となって県内外の消費地にPRするキャンペーン等を開催し、来客増加や生産者の所得向上を図る取組みを支援した。</p>	農林水産部
<p>4 くまもと地産地消活動支援等事業のうち地下水と土を育む地産地消支援事業 県内11地域において各1ヶ所の物産館、直売所に「地下水と土を育む農業のPR、販売コーナー」を設置した。</p>	農林水産部
<p>5 くまもとの卸売市場魅力アップ支援事業 熊本地方卸売市場の水産部に係る施設整備に関して、現有施設の強度調査等や新たに施設整備を行った場合の施設規模等に関する調査検討を行った。</p>	農林水産部
<p>6 くまもと農業元気づくり推進事業のうちくまもと農業フェア負担金 農業フェアの場を活用し、県民に本県の農畜産物を広くPRするとともに、「食の安全・安心」、「農業の多面的機能」等について理解を促進した。 (実績)開催日:平成27年11月14日、15日、場所:熊本県農業公園「カントリーパーク」、参加者数:20,265人(二日間計)</p>	農林水産部
<p>7 くまもとの米・麦・大豆魅力発信・競争力強化事業 小学校等への「くまもとお米の本」配付(13,300部)、小・中・高等学校での米・麦・大豆をテーマにした講習会(30校)の開催等といった米・麦・大豆に関する食育活動を実施した。</p>	農林水産部

<p>8 くまもと里モンプロジェクト推進事業(耕作放棄地を活用した農業体験等) 幼稚園、小学校、地域団体等が事業主体となり、児童・生徒・地域住民等が、耕作放棄地の再生作業等の農業体験活動、食の体験活動に取り組んだ。(実績)耕作放棄地の再生 131a(事業実施 新規9団体、前年から継続1団体)。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>9 ふるさとの食継承・活用推進事業のうち食文化継承事業、郷土料理普及推進事業 「くまもとふるさと食の名人」の新規認定を行うとともに各地域で研修等を実施。また、食文化継承を図るために、「くまもと食の歳時記」の作成や、HP等で食の名人の活動を紹介した。 (実績)新規認定者23名、総数315名、歳時記作成3,000部</p>	<p>農林水産部</p>
<p>10 特用林産物流通促進事業 山村地域の重要な換金作目である特用林産物の生産技術向上、流通・販売促進、普及啓発により、県産特用林産物の需要拡大に努めた。 (実績)「くまもと春のしいたけ祭り」(5月)※来場者数2,800人、「竹の日フェスタ」(7月)等のイベント開催</p>	<p>農林水産部</p>
<p>11 くまもと県産材総合PR事業 木材関係団体が行う県産木材の良さ、使用する意義等についての普及啓発活動に対して支援した。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>12 木材利用普及啓発事業 県下11地域の木材需要拡大協議会が行う、木工教室、木製遊具の寄贈による消費者への木材の良さ・利用の意義の啓発、公共性の高い団体への木材利用の要望等の活動を支援した。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>13 くまもとの木と親しむ環境推進事業 保育園等への県産木材を使用した木製遊具の貸出しや、木製机・椅子等の整備補助、さらに木材を材料とするものづくりイベントの開催や副読本の配布を行うことで、児童・生徒や保護者が県産木材の良さを理解し、親しめる環境を整備した。 (実績)木製遊具の貸出(26件)、木製机・椅子等の整備補助(木製机・椅子6施設、木製品14施設)、木材を材料とするものづくりイベント開催(4回)、副読本配布(小学生18,000人、中学生18,000人)</p>	<p>農林水産部</p>
<p>14 ふるさとくまもと応援寄附金推進費のうち「感謝の品贈呈」 「ふるさとくまもと応援寄附金」寄附者の方に県産品を「感謝の品」として贈呈した。 (実績)デコポン、メロン、くまもとの馬刺し等16品目を5,282セット送付した。</p>	<p>総務部</p>
<p>15 ロアツ熊本支援県民運動推進事業 ホームゲームにおいて、県内市町村の地域物産展等を開催し、県外アウェーゲームにおいても、熊本県産品等のPRを実施。 (実績)ホームゲームでは県内10市町村、アウェーゲームでは2回、熊本県産品等のPRを実施した。</p>	<p>企画振興部</p>

<p>16 くまもと手仕事ごよみ推進事業 HP・FB「くまもと手しごと研究所」を継続して運営し、旬な話題と季節に応じた伝統的手仕事(芸能・食・工芸)情報を広く発信。県内手仕事品を紹介する「くまもとの風合い」サイトの開設や、「くまもと手しごと応援！企業」登録制度を開始するなどPR活動を実施した。</p>	<p>企画振興部</p>
<p>17 天草空港利用者に対する県産品の提供及びパンフレットの配布 天草エアライン機内にて地域の県産品(加工食品を含む)を提供し、地域産業の振興を推進した。</p>	<p>企画振興部</p>
<p>18 阿蘇くまもと空港キャラクターを活用した県産品による空港PR事業 阿蘇くまもと空港ターミナルビル内売店にて、空港イメージキャラクター「あそらくん」を活用した県産品(ミネラルウォーター、いきなり団子)を販売し、阿蘇くまもと空港の知名度を向上させた。</p>	<p>企画振興部</p>
<p>19 子どもの食育推進事業 地域における食育相談事業(2か所で実施)において、地元の食材を使用した調理実習、栄養相談、講話等を実施した。</p>	<p>健康福祉部</p>
<p>20 健康食生活・食育推進事業 「くまもと健康づくり応援店」の募集期間を3か月から5か月に拡大し、指定取組を強化した。 (実績)指定店舗数:426店舗、うち地産地消に取り組んでいる店舗数:304店舗</p>	<p>健康福祉部</p>
<p>21 「大型店の立地に関するガイドライン」による大型店への協力要請 新設大型店舗及び増床等による変更届出のあった大型店舗に対し、ガイドラインに基づく地域貢献への取組みを要請し、大型店舗は各々主体的に地域貢献を実施している。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>22 ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業のうち「選ばれる観光地くまもと」観光キャンペーン展開事業、観光PR事業 観光キャンペーンのパンフレットや季刊誌、ホームページ等の媒体を通じて地元産食材を使った料理や土産品等を紹介。また、球磨焼酎と人吉温泉水、県南エリアの農産物等を使用したカクテルを開発し、提供施設を紹介するリーフレット等を作成した。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>23 庁舎内県産品展示コーナー設置事業 県庁本館1階ロビー受付横に県産品展示コーナーを設置し、イチゴ等の農林水産物、球磨焼酎等の加工食品、天草陶磁器等の伝統工芸品の展示を行い、県産品の魅力をアピールした。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>24 食育推進事業 「ふるさとくま(熊)さん(産)デー」の取組として県産物を活用した郷土料理や伝統料理を学校給食で11回提供するとともに、栄養教諭・学校栄養職員講習会等で地場産物活用についての理解促進を図った。</p>	<p>教育庁</p>
<p>25 くまもとの魚アジア市場ターゲット事業のうち地魚マスター活動支援 くまもと地魚マスターの活動を活性化させるために、全体会議を開催し、情報交換を実施した。 (実績)3月30日、水産加工場見学及び意見交換会出席者8名</p>	<p>農林水産部</p>

(2) 県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大

県内の物産館、直売所及び量販店等における県内農林水産物等の販売促進活動を支援し、県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大を図る。

主な取組み実績	部 局
<p>26 県産業用食材供給促進事業 卸売市場等と連携し、食材調達ルート及び調達条件を調査し、県産農林水産物活用に当たっての課題を整理するとともに、その条件下における県産農林水産物の活用方法のモデル実証等を行った。 (実績) 社員食堂での県産食材使用(5社)</p>	農林水産部
<p>27 くまもとグリーン農業・地産地消推進に係るクーポン券発行事業 県内の直売所・スーパー、商店街等の計68店舗が取扱店として参画し、この事業により県内農産物であるグリーン農業農産物の認知度向上や購入が促進され、地産地消推進が図られた。</p>	農林水産部
<p>28 ジビエ利活用緊急促進事業 くまもとジビエ研究会で各種研修、くまもとジビエフェアを実施。福岡県開催の全国ジビエ祭りにも出店。また、衛生管理ガイドラインを改正した。 (実績) 研修年2回開催、フェア参加店舗43店舗</p>	農林水産部
<p>29 くまもとの米粉総合推進事業のうち米粉需要開拓対策事業・米粉食品普及推進対策事業 事業者向けの米粉取扱技術指導(9回)、消費者向けの米粉料理教室開催(19回)やイベント等を通じ、米粉の消費拡大に向けたPRを行った。</p>	農林水産部
<p>30 県産麦パートナー推進事業 県産麦を使った新商品(粉)や加工品(7回)の開発、イベントや旅館・直売所等へのPRにより、県産麦の需要拡大を図った。生産者と実需者との連携が麦の更なる品質向上とプレミアム商品開発へと繋がりがつつある。</p>	農林水産部
<p>31 くまもと茶魅力発信支援事業 関東での品評会出品や、茶販売店と連携したイベント開催により、大消費地での県産茶の認知度向上を図った。また、県内の小中学校等で出前講座(14回)の開講や給茶サーバーの設置(2町村)を行い、県産茶の地産地消環境づくりを推進した。</p>	農林水産部
<p>32 ひのみどり産地強化対策事業 各種展示会で県産豊表の紹介、PRを実施。また、県外の業者等に産地の状況やいぐさの機能性等について周知。さらに、新品種を含む県奨励品種の育苗配布を実施した。(実績)パンフレット2,000部配布</p>	農林水産部
<p>33 熊本県産豊表プレミアム付商品券発行事業(地域消費喚起) 10,000円で12,000円分使える商品券を30,000枚発行販売し、QRコードタグ付きの県産豊表を使用した新調、張替工事を支援。のぼり、チラシ、ポスター等印刷物を製作配布し、テレビCM、ラジオ等メディアを活用し、事業の広報を実施した。</p>	農林水産部

<p>34 毎日くだもの200グラム運動の啓発活動支援 栄養科学科大学生を対象にくだものセミナー(1回)を開催。情報誌「リビング熊本」を活用した県内消費者への啓発(月1回)。県内幼稚園・保育園へのみかん・果物の情報提供(100園)。</p>	農林水産部
<p>35 県内需要対応型野菜産地育成事業 県内市場からの要望に基づき、新たな品目・作型等に取り組む産地に対し、その価格が著しく下がった場合に、その価格を補填した。 事業申請地域は、八代地域(春キャベツ)、菊池地域(ほうれんそう、スナップエンドウ)、天草地域(みずな、かぼちゃ)等。</p>	農林水産部
<p>36 一般社団法人熊本県野菜振興協会が実施する産地育成事業 新技術・新品目等の導入展示ほを設置し、試作検討を実施した。また、野菜PRを目的とした野菜ソムリエ育成事業により、県内生産者のソムリエ資格取得と育成を実施した。(実績)育成活動(2回)</p>	農林水産部
<p>37 くまもと花っていいよね。キャンペーン活動への支援(花き協会補助事業) 小中学校等を対象とした出張フラワーアレンジメント教室やJ2「ロアツ熊本」への協賛イベント活動、県内イベントへの出展、フラワーバレンタインキャンペーンの周知活動とイベントを実施した。 (実績)フラワーアレンジメント開催(29校)</p>	農林水産部
<p>38 くまもとの花新たな情報発信推進事業 「くまもと花の日」でのオリジナル商品の販売と情報発信(毎月1回)や生産者、市場、小売店連携によるオリジナル商品づくりを毎月7日、8日に実施した。また、商品情報の発信(毎月1回)と「くまもと産」通年表示を実施した。</p>	農林水産部
<p>39 くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち熊本県産銘柄豚生産流通対策事業 食の専門誌、観光リーフレットへの掲載、県HP及びバーコードリーダー等を活用した販売情報等の提供やブランドロゴ入りエプロンを作成し、イベント等でのPR活動等に取り組んだ。 (実績)10月10日銀杏祭 炭火焼サイコロステーキ100kg</p>	農林水産部
<p>40 くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち熊本県産地鶏生産流通対策事業 販促資材の作成・配布、県HP等による販売情報等の提供やイベント等でのPR活動等に取り組んだ。(実績)天草大王のぼり(200本)等 また、新たなPR資材としてFRPにて「原寸大・天草大王模型」を作成</p>	農林水産部
<p>41 くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち食肉流通体制強化推進事業 ホームページにおける県産牛肉のPR及び販売店等の情報提供、牛肉消費拡大キャンペーンの実施やイベント等でのPR活動等に取り組んだ。 (実績)ホームページアクセス数約3万件。キャンペーン応募総数約2,300通</p>	農林水産部
<p>42 阿蘇地域世界農業遺産応援商品券発行事業 商品券及び旅行券ともに予定数量を完売し、利用率も98.9%と高かったため、総額635,576千円の直接的な消費喚起効果が得られた。</p>	農林水産部

<p>43 ウッドリノベーション支援事業 県産木材を使用した内装木質化などのリノベーション等を実施するPR効果の高い店舗等に対して、設計費及び木材費(県産木材に限る)を助成した。(実績)提供店舗数(3棟)</p>	<p>農林水産部</p>
<p>44 くまとの魚アジア市場ターゲット事業のうちくもと四季のさかな推進活動事業 県産水産物の消費拡大と認知度向上のために、「くもと四季のさかな」をはじめとした水産物のPRイベントを開催した。 (実績)11月28～29日、くまとの”魚”まつり2015、ゆめタウンはません</p>	<p>農林水産部</p>
<p>45 くもと地産地消の家づくり推進事業 県内で県産材を使った住宅の新築又はリフォームを行う者に対して、県産の柱(90本相当)、県産緑化木(12,000円相当)及び畳表(8枚)を提供し、その住宅を使った見学会(1回)を開催した。 (実績)県産木材提供戸数(125戸)、県産緑化木提供戸数(125戸)、県産畳表提供戸数(100戸)</p>	<p>農林水産部</p>
<p>46 くもと3世代住宅支援事業 3世代が暮らす木造住宅の新築及びリフォームを行う者に対して、県産資材(木材・畳表等)を提供した。 (実績)県産木材提供戸数(19戸)</p>	<p>農林水産部</p>
<p>47 職員住宅畳替に伴う県産いぐさの利用 職員住宅の畳裏返しを実施した。 (実績)6棟、79戸、867畳</p>	<p>総務部</p>
<p>48 水前寺二丁目宿舍畳表替に伴う県産いぐさの利用 平成27年度の入退舎に際しての畳表替実施において、県産材イ草畳表(110枚分)を使用し、消費拡大を図った。</p>	<p>総務部</p>
<p>49 社会福祉施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例に基づく地産地消の推進 社会福祉施設等の監査資料に地産地消の取組みに関するチェック項目を設け、未実施の施設等に対しては地産地消の取組みを積極的に実施するよう助言した。(監査対象施設:472件)</p>	<p>健康福祉部</p>
<p>50 県産品販路開拓事業のうちくもと物産フェア事業 農商工の関係団体が連携し、県下最大級の食のイベントとして、第21回くもと物産フェアを開催した。 (実績)出展者:266企業・団体、入場者数:約25千人</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>51 特産品販売促進事業 県内各エリア毎のBOXやお歳暮等の特別企画BOX、イベントや実店舗用のBOXなどの割引販売(3割引)を実施した。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>52 くもとふるさと商品消費喚起事業 指定通販サイト等での指定県産品の販売において、県産品を割引価格で販売し、割引価格相当額を事業者に助成した。</p>	<p>商工観光労働部</p>

<p>53 公営住宅維持補修事業(畳替に係る部分) 県営住宅における畳の取替えにあたり、県産いぐさを使用した。 (実績) 県営上熊本団地 住戸数160戸 畳数1,767畳</p>	<p>土木部</p>
<p>54 公営住宅ストック総合改善事業(住戸改善に係る部分) 住戸改善工事を行う際の床改修において、県産桧材を使用した。 (実績) 県営上熊本団地外7団地 計98戸</p>	<p>土木部</p>
<p>55 警察施設維持管理事業 県産いぐさ畳による畳表替えを46戸612畳実施した。</p>	<p>警察本部</p>
<p>56 患者給食材料の購入 給食業務委託の仕様書において、一部食材については熊本県産又は熊本県内製造品を使用し、その他の食材についても可能な限り熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努めるよう規定することで、引き続き熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努めた。</p>	<p>病院局</p>

(3) 経済循環及び地域活性化

農林水産業と商工業、観光産業、学校等多様な産業又は組織との連携等により、県内農林水産物等を活用した加工商品の開発やイベントの開催等を行い、地域経済の活性化を図る。

<p>主な取組み実績</p>	<p>部 局</p>
<p>57 くまもとの6次産業化総合対策事業 農産加工施設整備支援や新商品開発支援、販路拡大支援などを行い、6次産業化の高度化を図った。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>58 くまもと地産地消活動支援等事業のうち地産地消協力店の指定 募集期間を設け、チラシやラジオ、HPなども活用して募集するとともに、地域内で地産地消の連携活動を行うグループなども勧誘した。 (実績) 地産地消協力店 682店舗</p>	<p>農林水産部</p>
<p>59 コンテスト等を活用した地産地消の意識啓発 平成27年度優良ふるさと食品コンクールにて、1品が一般財団法人食品産業センター会長賞を受賞した。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>60 県産農林水産物を使った「おやつ」プロジェクト推進事業 これまでの取組みを冊子(10,000部)にまとめ放課後児童クラブ等に配布するとともに、子どもたちが県産農林水産物を使った栄養面を考えた「おやつ」を食べる環境づくりを支援した。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>61 地域資源を活用した新産業パイオニア事業 加工により高付加価値化が期待でき、これまでに活用されていなかった菊芋、ヒュウガトウキ、桑などを商品化し販売するための支援を行った。 (実績) ソフト事業(3カ所)、ハード事業(1カ所)</p>	<p>農林水産部</p>
<p>62 6次産業化推進・加工施設整備支援事業 農業参入企業等による加工施設等の整備を支援した(2社実施)。</p>	<p>農林水産部</p>

<p>63 女性農業者等元気づくり事業 農村女性による農業理解活動や新たな加工商品開発及び6次産業化に伴う農業経営の高度化支援を実施した。 また、農山漁村女性シニア活動表彰において、3団体を熊本県賞として表彰した。</p>	農林水産部
<p>64 くまもとの米粉総合推進事業のうち新規需要米生産製造連携関連施設整備事業(農山漁村活性化プロジェクト支援交付金) 消費者ニーズに対応した玄米粉等の生産増や製造過程の効率化を図るため、熊本製粉㈱の合志米粉工場、花園米粉工場において、粉碎設備や搬送設備の能力増強を実施した。</p>	農林水産部
<p>65 県産米粉パン地産地消促進事業 県内小中学校等への週1回程度県産米粉パンの導入を目指し、標準パンとの価格差の一部の助成を行った。特に、毎月第2、3週は、標準パンとの価格差の全部を助成し、米粉パン給食の普及定着を進めた。 (実績)米粉パン提供数(2, 466千個)</p>	農林水産部
<p>66 球磨焼酎等ブランド確立推進事業 球磨焼酎原料米の生産面積117.6haに応じて助成を実施し、生産数量597.33tを、球磨焼酎蔵元数17蔵元に供給した。 多収品種ミズホチカラを原料米とした焼酎の消費喚起を目的とした広報活動(HP、ラジオ放送等)を実施した。</p>	農林水産部
<p>67 公共施設・公共工事における県産木材の利用推進本部会議 県営及び県が補助する施設整備や土木工事等について木材利用を働きかけた。県、市町村の林務、建築担当に対する大型木造建築物の現地研修会(1回)を実施した。</p>	農林水産部
<p>68 資産の有効活用(県有施設における自動販売機設置事業者の選定) 平成27年度の県有施設における自動販売機設置の選定に係る募集要項において、「県内で生産又は加工したものを優先的に取り扱うよう努めること」の規定を設けて実施した。(8件)</p>	総務部
<p>69 地域づくり夢チャレンジ推進事業及び地方創生夢チャレンジ推進事業のうち交流促進の取組 市町村や地域住民による地域の食や文化等の資源を活用した取組みに対する補助を行った。 (実績)51件 122, 211千円</p>	企画振興部
<p>70 地域づくり夢チャレンジ推進事業及び地方創生夢チャレンジ推進事業のうち「コミュニティ・ビジネス起業化の取組」、「地域の支事(しごと)おこしの取組」、「農業の地域資源(宝)活用の取組」、「企業等による地域づくり応援の取組」 障がい者支援施設に対する補助を行い、地域の方と障がい者が協力し、地元の農産物を活用した菓子製造を行う取組みを支援した。 市町村や地域住民による里山の景観を生かしたカフェの開設や地元産品を活用した新商品開発等の取組みに対する補助を行った。 (実績)15件 19, 494千円</p>	企画振興部 健康福祉部 農林水産部

<p>71 公益財団法人水俣・芦北地域振興財団地域振興事業 国内外の食のイベントへの参加や現地生産者見学ツアーの開催、雑誌の掲載等を通じて、環境に配慮した農産物生産について広く情報発信した。また、耕作放棄地を活用して米とサトウキビを自然栽培し、米製品及び黒砂糖の商品開発(4品)を行った。</p>	<p>企画振興部</p>
<p>72 水俣・芦北地域産業振興と雇用創出事業 関係市町及び経済団体と連携し、地域の事業者の展示商談会等への出展支援、建設業者によるアボカドの実証栽培など農建連携の推進、地域産品を活用した新商品(6品)の開発、ブランド化等に対する支援など、地域産業及び経済の活性化に資する取組みを実施した。</p>	<p>企画振興部</p>
<p>73 地域力活用ビジネス創出支援事業 地域資源を活用した新たな特産品の試作・開発、売れる商品づくり、売れるレイアウト等の研修会を開催し、販路支援を行った。また、専門家の評価、消費者のアンケート結果を事業者へフィードバックし、自社商品の改良等に貢献した。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>74 「食と健康」産業創出支援事業 支援アドバイザーを1名配置し、売れる商品づくりのための個別勉強会やプレゼンテーション練習会を行い、東京での商談会を開催した。 (実績)公募で県内企業6社を選定し、個別商談を23件実施した。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>75 食品周辺関連産業技術振興事業 コーディネータを2名配置し、県南地域を中心に事業化案件の発掘を行い、事業化可能性調査を実施した。 (実績)事業化案件33件を審査会で評価し、有望な4件について事業化可能性調査を実施した。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>76 加工技術向上事業、農商工連携推進事業 農業団体や農産加工グループ等への加工技術向上研修会(3回)やニーズに基づく技術支援(378回)、くまもと食品科学研究会等と連携して農商工連携推進交流会(2回)を開催した。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>77 農産加工研究開発事業(特別支援事業) 親油性成分の抗酸化能測定法を習得した。また、農業研究センターや農業普及振興課と連携しながら分析用サンプル収集(137点)を行い、抗酸化能のデータ蓄積を進めた。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>78 熊本県食料産業クラスター協議会 熊本県食料産業クラスター協議会が開催する食農連携推進企画運営会議及び講演会に参加し、アドバイザーとして支援(8回)を行った。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>79 農商工連携推進事業 熊本県農商工連携推進協議会及び支援等調整部会を開催し、情報交換等(2回)を行った。また、金融機関等と連携し、くまもと食の商談会(1回)を共催した。</p>	<p>商工観光労働部</p>

<p>80 プレミアム商品開発支援事業 首都圏で自然食品、有機栽培農産物を取扱う高品質スーパー「(株)こだわりや」と県内事業者が連携して取り組む、県内の農林水産物を活用した加工食品の新商品開発及び販売促進に要する費用の一部について、補助を行った。(実績)2事業者</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>81 新商品等販路開拓マーケティング支援事業 くまもと農商工連携100選認定事業者等が、農商工連携により開発した新商品を県内でテストマーケティングする際に要する費用の一部補助を行った。(実績)12事業者</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>82 物産展示場運営事業 季節感や地域性を打ち出したフェア、県産品のお中元やお歳暮の販売促進、優良新商品表彰事業及び展示販売等を実施した。県内及び県外のイベントや物産展に出展し、県産品の展示販売を行った。</p>	<p>商工観光労働部</p>
<p>83 くまもとの酒消費拡大推進事業 「熊本県MY県産酒運動推進会議」を設立し、県内消費者が、MY県産酒を「知る」、「見つける」、「進める」ための取組みを実施した。 (実績)県産酒セミナー開催(4回)、消費拡大キャンペーン(2~3月)、「くまもとのお酒大全」の作成 等</p>	<p>商工観光労働部</p>

(4)農林水産業が果たす多面的機能の再認識

農林水産業や食に関する体験イベント等を通じて、都市住民と農山漁村住民、生産者と消費者の交流活動を促進し、農林水産業が果たしている多面的機能（国土や自然環境の保全、水源の涵養、癒しの場など）への再認識を図る。

<p>主な取組み実績</p>	<p>部 局</p>
<p>84 くまもと地産地消活動支援等事業のうちくまもと食・農ネットワーク活動への支援 「総会、研修会」(10月)において、県内企業の地産地消活動にかかる講演等を行い、「地産地消のつどい」(2月)では、世界へ羽ばたくくまもとの地産地消をテーマに、生産者と消費者等の交流を図った。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>85 都市農村交流対策事業 都市と農村との交流事業を支援し、移住を視野に入れた交流、農山村の集落維持・再生に貢献できる交流活動を推進した。 (実績)3市町に対して補助した。</p>	<p>農林水産部</p>
<p>86 中山間・水と土保全対策のうち子どもを対象とした農業体験交流支援事業 子どもを対象とした農業・農村の体験学習を支援し、稲の作付から収穫までの一連の農業体験や地元農産品のPR・試食会等を行った。 (実績)1市4団体に対して補助した。</p>	<p>農林水産部</p>

<p>87 棚田ふれあい探訪ツアー 都市部の参加者と地元住民の交流を通じて棚田のすばらしさと現状を伝え、県民の棚田保全への理解を深めることを目的に熊本県民を対象とした体験型ツアーを開催した。 (実績) 県内4コースで開催した</p>	農林水産部
<p>88 くまもとグリーン農業 県民理解の促進・消費拡大推進(地下水と土を育む農業総合推進事業の一部) 「地下水と土を育む農畜産物収穫祭」の開催や、農業関係イベント等におけるくまもとグリーン農業の周知活動の実施、グリーン農業専用ホームページの拡充等を図った。 (実績) グリーン農業応援宣言者数は約4,900件増加し、15,760件となった。</p>	農林水産部
<p>89 くまもとツーリズムの推進事業 県内のツーリズム団体の現状と課題について情報共有するとともに、ツーリズム団体等の更なるレベルアップや都市農村交流、地域づくりについての県全体の気運を高め、本県の地域振興につなげるため、県内のツーリズム団体等を対象とした研修会(2月)を開催した。</p>	企画振興部
<p>90 地域の縁がわ彩り事業 「地域の縁がわ」及び「地域ふれあいホーム」に取り組む計15団体に施設整備補助金を交付(農産物の収穫体験や農産品の加工などを行う地域住民の交流拠点を整備)。地域の素材や特性を生かした取組みが更に進むよう情報交換会を県内2か所で開催。「地域の縁がわ」の立上げを検討し、又は運営している団体への相談対応や情報提供を行った。</p>	健康福祉部

(5) 条例の周知、意識啓発等、条例の直接的な推進に係る取組

主な取組み実績	部 局
<p>91 くまもと地産地消推進庁内連絡会議 「くまもと地産地消推進庁内連絡会議」(5月)、「同作業部会」(4月)において、地産地消関連施策について検討、情報交換を行った。</p>	各関係部局
<p>92 様々な広報媒体を活用した県民への条例周知 県庁ホームページや県地産地消サイトに条例や地産地消に関する情報を掲載、発信するとともに、様々な広報媒体を活用して県民への条例の周知・浸透と地産地消の意識醸成を図った。 (実績) 県民の地産地消への関心(H27県民アンケート)93.6%</p>	農林水産部
<p>93 イベント等での条例の周知及び情報発信 くまもと農業フェア(11月)、田崎市場感謝祭(12月)などの各種イベントに地産地消条例周知と推進を目的としたブースを出展し、来場者に対して広く情報発信を行った。</p>	農林水産部